



—淡路の情報いっぱい!生活創造しんぶん—

VOL.116

月刊

# ポケットあわじ

発行日 2012年1月1日



蔵からうまれる  
島の味



写真提供 廣岡卓樹氏



## 醤油蔵

## 宝川醤油製造工場



東浦ターミナルの交差点の信号を東浦IC方向に曲がると、左手に大きな木造の歴史を感じさせる建物が見えてきます。これが明治の終りに建てられ約100年あまりの宝川醤油製造工場蔵であります。

三代目の当主 宝川 正嗣さんが今もお一人で1年半かけて丁寧に醤油造りをされています。昔は淡路島内に醤油蔵が27軒あったそうですが、現在はここを含め2軒になっているそうです。醤油蔵の中を案内していただきますと大きな樽がずらりと並べてありました。樽は10石もある大きなものですが、昔は30石もの樽を使っていたそうです。料理に欠かせない醤油も食の変化で、ソース、マヨネーズ、ぼん酢などで需要が減ってきたそうです。

蔵の中に居ると、長年の醤油造りの職人さんの思いと香りが伝わり、歴史ある木造建物に手造りの良さと和食文化の伝統を肌で感じる事ができ、心が和みお腹がなりました。 応援隊 竹原 祐乘

今月の特集

新春 蔵びらき  
蔵からうまれる島の味

- P.1 ・宝川醤油製造工場の蔵
- P.2 ・かわばたみそのみそ蔵 ・都美人の酒蔵
- P.3 ・センザン醤油の醤油蔵 ・千年一酒造の酒蔵

もくじ

- P.4 あわぢ米びーる  
東日本大震災復興応援シリーズ 淡路島からできること
- P.5 淡路市出身のバスケットボール選手兵庫ストークス長尾強司選手  
三田さんが贈る元気200%笑顔と幸せ応援コーナー “なんちゃって漢方”
- P.6 淡路文化会館 ・淡路消費生活センターからのお知らせ
- P.7.8 淡路の文化活動 ・イベント情報

# 味噌蔵 かわがたみそ



創業180年 麹が育つ蔵

洲本市下加茂にある「かわがたみそ」にお伺いすると六代目代表の川端佳宏さんに、笑顔でお迎えいただきました。さっそく建物内に入るとぷうーんとお味噌のよい香り。何か昔なつかしいような香りです。

この「かわがたみそ」は創業180年あまり、最初のころは麹を専門に作っていたそうです。その後自慢の麹を使って、昔ながらの手作り製法でいろいろな味噌を作り始め、田舎味噌やおかずみそなどを製造販売しています。川端さんは「麹は生き物、だいに心をこめて育てると、やっぱりいいものができます。うちは、この麹を使って防腐剤などをいっさい使わず手作業で味噌

を作っています。麹が生きている味噌をぜひご利用ください。」と話してくれました。その麹を作っている蔵を見せていただくと、温度管理された暖かい部屋には整然と並べられた木箱。その中には手作り味噌の命である米麹が育っていました。

そういえば、私が子どものころは我家でも麹を買ってきてお味噌を作っていましたね。 応援隊 田処 壱久



**かわがたみそ有限会社**  
洲本市下加茂  
2丁目5-62  
TEL 0799-22-4607



# 都美人酒造



## 酒蔵



伝統ある木造の蔵⇒



天秤絞り⇒



南あわじにある都美人酒造(株)は、今月号のタイトルにふさわしい伝統ある木造の蔵をそのまま使った建物と、昔ながらの槽掛け天秤搾り(ふながけてんびんしぼり)の工程で酒造りを行っている数少ない酒蔵です。社名の由来は昭和20年に南あわじの酒造10軒が合併した折に、その中の一軒の最も響きの良い商標をとって「都美人」とされたそうです。

創業60年以上の歴史ある蔵では、山田錦の「酒米」、ゆずるは山系の「伏流水」、良質の「麹」を用い、2時間おきに麹を混ぜる手法にこだわっており、若い杜氏と蔵人達が厳しい冬の間1日も休む事なく早朝より酒造りに励んでいます。「作り手が思いをこめたお酒をより多くの人に呑んでもらいたい。呑んだ人達の“おいしかった！”の一言で全てが報われ、喜びを感じます」という職人さんの言葉に感動しました。

木下会長さんの案内で通された蔵見学の建物は、昔の建物を改造したものです。酒樽のふたを再利用した従業員さん手造りの机。酵母発酵用の桶に酒袋の布を貼った椅子。その他内装にいたるまで酒蔵見学にぴったりな、いい感じの部屋になっています。「来年1月からの蔵見学に皆さんぜひ来て下さい」木下会長談。 応援隊:岡 八代井・納 智子・坂本 厚子・村上 紀代美





## 醤油蔵

## センザン醤油



### 昔ながらの製法でよいものを作り続けるセンザン醤油

こんなマークを見たことはありませんか？鳥かな？コウモリかな？淡路の名峰先山(せんざん)とその山頂にある「千光寺」の千と山がデザインされたもの。南あわじ市の創業明治23年の秦組本店で作られる醤油のマークです。

ここで作られているのは、国産丸大豆・小麦を原料に、ミネラルをいっぱい含んだあらびき天日塩を加えて熟成させて、ふた夏蔵で寝かせてつくる手作り醤油です。

工場内に一歩足を踏み入ると、そこはかたなく流れる懐かしい醤油のにおい。工場内で仕込まれた大豆が熟成させられているプールのような槽がいくつも並んだ蔵からもこのよい香りがします。そしてできたもろみを絞ってできたのが醤油。もちろん添加物は一切使用しま

せん。昔ながらの製法を守り、良いものを作り続けたいと4代目秦紳一郎さんは熱く語ります。敷地内を見渡すと高さ5メートルの煉瓦の煙突、(かつては10メートルくらいあったそうです)土壁の醤油蔵、背丈をはるかに超えるたくさんの大きな醤油桶。工場は、震災の後の補強工事で鉄骨が入れられましたが、大きな梁の木材などは、そのまま残され創業当時を思わせます。明治、大正、昭和、平成と続いてきた100余年の歴史と伝統をずしりと感じる風景です。

現在は煉瓦の煙突や土壁の醤油蔵は使用されていませんが、昔から伝わる醤油づくりの製法を頑なに守り、創業以来の思いを今日まで伝えるために煙突や蔵は存

株式会社秦組本店: 南あわじ市八木新庄301-1 Tel 0799-42-0001 Fax 0799-42-0025

村上紀代美・坂本 厚子 納 智子・岡 八代井



## 千年一酒造 酒蔵



淡路市旧東浦の国道沿い、学習小学校の前に、趣きを感じさせる木造の千年一酒造の酒蔵があります。明治8年(1875)に創業、酒造りを続けて130年の歴史を持つ酒蔵です。今は本格的な新酒の季節を迎え、一年で一番忙しい時期だそうです。12月10日には新酒が出来たことを知らせる杉玉が玄関に吊り下げられています。

昔ながらの引き戸をくぐるとお酒の香りが漂い、あったかい温もりを感じます。こちらの酒蔵ではボランティアの方が蔵の中を案内してくださり、日本酒が発酵している様子も観ることができます。酒造りの蒸す・こうじを造る・酒母の行程を説明しながら案内してくれます。

酒造りには、兵庫県美方郡から3名の杜氏の方が来られて愛情をかけて心を込めて一本一本丁寧に酒造りをされています。一度訪ねられて堪能してみたいはかがでしょう。



千 年 一 酒 造 株 式 会 社  
淡 路 市 久 留 麻 2 4 8 5 - 1  
T e l 0 7 9 9 - 7 4 - 2 0 0 5  
F a x 0 7 9 9 - 7 4 - 3 1 2 2

応援隊: 竹原祐乘



あわぢ米びーる 480円

あわぢ米びーる 480円を紹介しま  
す。温暖な淡路島で太陽の恵みを  
ふんだんに浴びた淡路米で仕込ん  
だ自信作。さっそく淡路島の地ビ  
ール「あわぢ米びーる」を飲んでみま  
した。グラスに注ぐとキラキラと輝く  
ような透き通った色合い。口に含む  
と淡路島の風が吹き抜けるような  
爽やかな喉越し。ほのかに香るお  
米の甘さに優しい飲み心地。苦み  
も控えめで、とても口触りがよく、ア

# あわぢ米びーる

## ☆ 淡路米の香りが広がる爽やかビール ☆

地産地消  
ブームの今  
注目の一品

を紹介しま  
す。温暖な淡路島で太陽の恵みを  
ふんだんに浴びた淡路米で仕込ん  
だ自信作。さっそく淡路島の地ビ  
ール「あわぢ米びーる」を飲んでみま  
した。グラスに注ぐとキラキラと輝く  
ような透き通った色合い。口に含む  
と淡路島の風が吹き抜けるような  
爽やかな喉越し。ほのかに香るお  
米の甘さに優しい飲み心地。苦み  
も控えめで、とても口触りがよく、ア

ルコールも3.5%と低めです。  
地産地消にこだわり、淡路島産の  
一等米を使用。糊化温度の違う米  
と麦という材料のため仕込みを試  
行錯誤の末、完成させたそうです。  
子どものように見守り育てた手作り  
ならではの“こだわりの味”にぜひ  
淡路島の太陽と風を感じていただ  
けたら～♪

開発担当者の富田 元之さんは  
「酵母菌を殺していない生モノです  
ので冷蔵庫で保存の上、できるだ  
けお早めにお飲みくださると蔵出し  
の味が楽しめます。」と最後まで細

やかな心配りを  
忘れない。

他にもこだわり  
の正統派「ピル  
スナー」、芳醇な  
香りの「ヴァイツェン」、香ばしさとコ  
クの「アルト」などのラインナップが  
あります。淡路島を代表する地ビ  
ールとして登場した『あわぢ米びーる』  
ビール本来の深い味わいと豊かな  
香りを大切にし  
ています。



応援隊  
竹代 結

あわぢ米びーる工房 淡路市浦1022-2 TEL 0799-74-0339 購入場所: 淡路ハイウェイオアシス TEL 0799-72-0220

東日本大震災復興応援シリーズ

## 淡路島からできること

東日本大震災で被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます

### 原発事故が福島の子にもたらしたもの

東日本大震災をあらためて考えてみようという記

念講演には福島県から中手聖一さんをお迎えして『原発事故が福島の子にもたらしたもの』と題してお話をうかがいました。以下中手さん談。

「最初は、原発の20km圏内が避難地域でしたが、すぐに私の住んでいる70km圏内まで放射能がやってきました。その時、福島市には放射能の専門家が不在で学校まで手がまわらず、何も手つかずのまま親の判断で子どもたちを避難させました。3月末に学校に調査が入



福島県 中手 聖一さん

12月3日淡路市人権を考える集いが開催され、記念講演と被災地を訪れた4名の方からのリレーメッセージがありました。今月号と2月号で紹介します。

りましたが、集計と評価がないまま情報がネットに流されたため、住民は何もわからなく、何もかもが後手後手にまわってしまいました。この問題を解決する日はいつになるかわかりません。今では家族と離れ離れに暮らしている人も多く、知らない街で暮らして不安な人たちが大部分です。地域の皆様とできるだけつながりあって共に歩いていきたいと思っております。新しい生活の応援をお願いします。」

応援隊: 廣岡 ひろ子

今まで現地に6回行きました。阪神淡路大震災の経験から、常に現地で気をつけたいことは、仕分けはこちらでし現地での作業を減らす、並べてもわかりやすいように同種類の段ボールを使う、現地でのごみは出さない、現地の風土を大切にする、現地の経済の活性化です。今度、材料現地調達で現地の人と共に餅つきをします。特に今一番欠けていることは、「心くぱり」だと思う。「自分もあなたも一生懸命生きる。できることはしあおうな」

### リレーメッセージ PART 1

ネットワーク淡路島  
木村 幸一さん



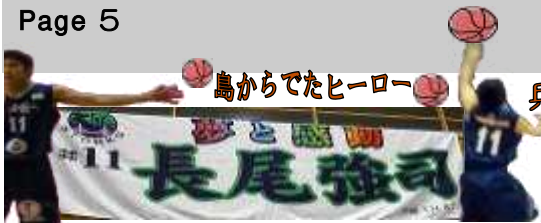
興久寺住職  
禰宜田 龍真さん



17年前の阪神・淡路大震災の時助け出された人がボソツと言った言葉。「神も仏もないのやな」頭の芯が痛くなった。その後も災害のおきた場所に足を運んだ。広島・三宅島・高知・名古屋・今回も4月に岩手県大槌町へ行ってきてから東北各地に足を運んでいる。0泊3日で行ってきたこともある。地域・文化・習慣がちがうため現地へ足を運んで目で見て肌で感じることも大切。「自分のできる範囲の何分の1でもいいので皆さんできることをしませんか?」

●兵庫ストークス 長尾 強司 選手

●薬剤師の三田さんが贈る元気200%笑顔と幸せ応援コーナー



鳥からでたヒーロー

兵庫ストークス キャプテン

# 長尾 強司選手



<http://www.storks.jp/>

すべての人々から愛され、感動と夢を分かち合える、最強のチームを目指す。これは今年4月JBL2に正式加盟した兵庫ストークスの指針。兵庫ストークスは兵庫県初のプロバスケットボールチーム。そのチームに淡路市出身の長尾強司選手が所属しています。選手紹介では「背中でチームを牽引するキャプテン、視野の広いプレーが持ち味、スピードをいかしたドライブ」とあるように、先を見て次の状況を予測しての動き、ディフェンスを抜いてからシュートまでのスピード。選手はもちろん見ている人を釘付けにし、会場が一体となる。そのスピードと迫力はバスケットボールの魅力であり、キャプテンとして牽引する長尾選手の魅力でもあります。

ストークケアーズは地域貢献活動の総称として名付けられました。教育機関への選手訪問や職業講話など、何かを続けること、頑張るという精神、本当のカッコよさなどを子供たちに伝えて行きたいと活動しています。今年縁があって地元兵庫に帰ってきてプレーできる幸せと、これから最強のチームを作りたいと話す長尾選手。バスケットボールを通して子ども達を笑顔にし、頑張り続けることで未来に希望があると語っているように思われました。

JBL2のシーズンは10月～3月。今は公式戦の真っ最中。1月14日・15日にはHOME神戸ファッションマートで試合が行われます。是非、兵庫ストークスの試合を、長尾選手を応援しに行ってください。

応援隊 納 智子・岡 八代井



ファンに囲まれる長尾選手

JBL=JAPAN BASKETBALL LEAGUEの頭文字

## 生活習慣アドバイザー・薬剤師の三田さんが贈る元気200% 笑顔と幸せ応援コーナー ~なんちゃって漢方~



漢方で冬は、腎(臓)・膀胱系を元気に強化しなくてはならない時期です。「腎」は生命力の源で、「先天の本」とよばれています。「腎」は消化液の分泌の他に血液やホルモンなどの体液をコントロールしており、内分泌系の中心をなしています。「腎」は生命の泉であり、体に潤いと若さを与えてくれます。

「腎」が衰えると、内分泌系のトラブル(男性:精子減少・前立腺肥大・前立腺がんなど、女性:生理不順・更年期障害・不妊・婦人科系の癌・甲状腺トラブルなど)や精力・決断力が低下し、何に対しても恐怖心が強くなります。また耳のトラブル(耳鳴り・難聴・中耳炎)や骨・歯、足・腰のトラブルや抜け毛、シミ、くすみなども「腎」の力の衰えと関連があります。

### 冬を元気に過ごし腎臓・膀胱系を強化する方法

1. 乳製品を控える。
2. 根菜類(ゴボウ・人参・大根・自然薯・クズなど)をこまめに食べる。
3. 白砂糖を控える。
4. 水分・果物の摂りすぎに注意。
5. 冷たく冷やした甘い飲み物を控える。
6. 適塩にする。(天然塩には保湿効果がある)
7. 動物性たんぱくを控える。
8. 海藻を常食する。
9. 黒色食品がおすすめ。(黒豆・黒ゴマ・そば・黒米・ゴボウ・きくらげ)



10. 大豆加工食品を活用する。(豆腐・高野豆腐・納豆・みそ・醤油・ゆばなど)
11. 小豆を常食し、肌の若返りをはかる。
12. 心の垢を洗い流す。「人にしてもらうこと」より「人にしてあげること」を考え行動しましょう。
13. 寒い朝には生姜紅茶がおすすめ。
14. 半身浴でゆっくり内部体温を高める。

夜間に2時間おきにトイレに行かなくてはならない方は、「地黄丸類」を飲むことをおすすめします。

★淡路文化会館からのお知らせ★

# 「いざなぎ学園」のご案内

## 「いざなぎ学園」 公開講座・オープンキャンパス

日時：1月11日（水）・25日（水）

9:30～15:00

場所：淡路文化会館 講堂

内容：教養講座（コンサート）  
サークル、実技実習講座

参加費：無料

問合せ：淡路文化会館(0799-85-1391)

公開講座

## 「新春まほろばコンサート」

～箏の調べ～

すばらしい日本の文化を身近に！！

日時：1月11日（水）13:15～15:00

場所：淡路文化会館 講堂

出演：大歳久美子さん、かりんさん  
（「箏」演奏の第一人者）

内容：大和のまほろば、浜辺の歌、花  
楽器のお話、体験演奏 他

参加費：無料

問合せ：淡路文化会館(0799-85-1391)

# 24年度受講生、1月11日より募集開始！

★淡路消費生活センターからのお知らせ★

## 第34回 淡路くらしのひろば展

淡路地域のくらしに密着した課題の解決に向けて考え話し合う場として「淡路くらしのひろば展」を毎年1月に開催しています。今年度は、東日本大震災の教訓を踏まえて、淡路地域の安全安心なくらしを考えます。是非、ご参加ください。

平成24年 1月28日（土）13:30～16:00

南あわじ市西淡公民館  
大ホール

### ★講演★

津波による犠牲者ゼロを目指して  
～淡路の力を総動員してどこまでできるか～

講師：人と防災未来センター  
主任研究員 奥村 与志弘 氏

専門は、巨大災害、津波防災。  
巨大災害時の最適な災害対応に関する研究を展開。南あわじ市福良防災  
ステーション運営協議会委員。

### さわやかステージ

福童（ふくわらべ）の皆  
さんによる だんじり唄♪  
\*平成23年淡路だんじり  
唄コンクール優勝！！

### ☆くらしの落語☆

かつら だまる  
桂 出丸 氏

昭和60年 桂  
朝丸（現ざこ  
ば）に入門し、  
翌年「朝丸の  
会」で初舞台。  
現在、各地で落  
語会、寄席等で  
活躍中。



兵庫県淡路消費生活センター 商品や契約についてお気軽にご相談ください。

◇消費生活相談・多重債務相談 電話0799-23-0993

9:00～12:00 13:00～16:30（土日祝日・年末年始は除く）（電話受付）



イベント・インフォメーション

所	イベント	日時・会場	料金・問合せ先
<b>淡路島</b> <b>国営明石海峡公園</b> 〒656-2307 淡路市南鶴崎8-10 TEL 0799-72-2000 FAX 0799-72-2100	あわジオフェスティバル	12/23(金)～1/9(月)	イベントにより異なる ※別途入園料・駐車料金必要
	ちいさな化石をさがそう	1/8(日) 11:00、14:30	100円(※要予約) ※別途入園料・駐車料金必要
	季節のクラフトあそび	1/14(土)～3/4(日) 期間中の土日	材料代 ※別途入園料・駐車料金必要
<b>兵庫県立</b> <b>淡路夢舞台温室</b> <b>「奇跡の星の植物館」</b> 〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL 0799-74-1200 FAX 0799-74-1201 10:00～18:00 (最終入館17:30) ☆年始も営業しています☆ ※1/16～1/20まで淡路夢舞台ラン展準備のため臨時休館	光と花のページェント2011 -世界でたったひとつの ホワイトクリスマスガーデン-	～1/15(日)	入館料:大人600円 65歳以上(要証明)300円 高校生300円 中学生以下無料
	ニューイヤーイベント ☆紅白まんじゅうプレゼント	1/2(月)13:00～ 先着100名	参加費無料 ※別途入館料要
	特別展 淡路夢舞台ラン展2012 -蘭華宮殿 五感で感じる ランの不思議で 華麗な世界-	1/21(土)～3/11(日)	入館料:大人1200円 65歳以上(要証明)600円 高校生600円 中学生以下無料 ※前売券1/20まで販売中! 大人960円、65歳以上480円
<b>洲本市</b> <b>市民交流センター</b> 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	洲本実業高校吹奏楽部 第57回定期演奏会	1月15日(日)14:00～ (開場13:30～) 会場:ビバホール	入場無料 【問】市民交流センター TEL 0799-24-4450
	迎春 New Year Concert 大阪音楽大学出身者によるコンサート 劇団四季出身松田ひろ子が贈る ミュージカルソング他	1月22日(日) 昼の部 13:30開演 夜の部 18:00開演 会場:ビバホール	入場料 昼の部 1,500円 夜の部 1,500円 【問】太田 TEL 090-7342-6348
<b>淡路市立</b> <b>サンシャインホール</b> 〒656-2305 淡路市浦148-1 TEL 0799-74-0250	古事記編纂1300年記念事業 二十五絃箏による神語り 組曲「大和のまほろば」	1月28日(日)19:00～ (開場18:30～)	入場料 一般 1,000円 (当日1,200円) ※500円(当日700円) 学生(高校生以下) 70歳以上身障療育手帳所持者
<b>洲本市文化体育館</b> 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321	古事記編纂記念日 シンポジウム	2月19日(日) 13:30～16:45(予定)	入場無料 【問】淡路県民局 TEL 0799-26-2014
<b>伊弉諾神宮</b> 淡路市多賀740 TEL 0799-80-5001	古事記編纂1300年 記念大祭	2月19日(日) 午前	入場無料

古事記編纂千三百年記念  
**創生「国生み神楽」**  
 〈神秘の舞、雅な音色で演出〉  
 ○1月29日(日)  
 14:00～16:00  
 ○洲本市文化体育館文化ホール  
 【問合せ先】  
 くにうみ神話のまちづくり  
 実行委員会 TEL0799-70-1010

お見合い紹介をします!  
**縁結びプロジェクト**  
 兵庫県と兵庫県青少年本部では、少子対策として、独身男女の出会いを支援するため、県民局ごとに「地域出会いサポートセンター」を開設しています。「はばタン会員」(お見合い希望会員)になると、3,900人余り(11月末現在)の会員の中から相談員が仲介し、会員同士の合意が得られた場合に1対1のお見合いの機会を提供します。  
**淡路出会いサポートセンター**  
 〒656-0021  
 洲本市塩屋2-4-5  
 洲本総合庁舎 1階  
 TEL (0799)24-2717  
 FAX (0799)24-2810  
 ◎詳しくはお問い合わせください。  
 (公財)兵庫県青少年本部 兵庫県

ギャラリー・インフォメーション

所	イベント	日時・会場	料金等
<b>淡路文化会館</b> 〒656-1521 淡路市多賀600 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400	<b>第22回淡路市中学校 合同美術部展</b>	1/6(金)～1/15(日) 9:00～17:00 ※県民ギャラリー、展示室	鑑賞無料
	<b>第30回 記念選抜書友展</b>	1/18(水)～1/29(水) 9:00～17:00 ※県民ギャラリー、展示室	鑑賞無料
	<b>十の会・淡路市内中学校 美術部との交流展</b>	1/31(火)～2/17(金) 9:00～17:00 ※県民ギャラリー、展示室	鑑賞無料
<b>洲本市民工房</b> 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-22-3322 FAX 同上	<b>原芳洲会書道作品展</b>	1/21(土)・1/22(日) 9:00～21:00 1/22(日)は16:00まで ※3階ギャラリー	観覧無料
	<b>淡路美術協会会員展</b>	1/27(金)～1/29(日) 10:00～17:00 最終日は16:00まで ※3階ギャラリー	観覧無料
<b>洲本市 市民交流センター</b> 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	<b>洲本市公私立幼稚園 幼児画展</b>  洲本市内の公私立の幼稚園児の絵 を展示します。	1/5(木)～1/28(土) 9:00～21:00(月曜休館) ※アールギャラリー	観覧無料 【問】市民交流センター TEL 0799-24-4450
<b>南あわじ市発掘調査速報展—平成21・22年度調査—</b> ①南淡図書館(南あわじ市福良甲300)・・・1/7(土)～1/24(火) ②西淡公民館(南あわじ市湊75-1)・・・1/28(土)～2/14(火) ③淡路人形浄瑠璃資料館(南あわじ市市三條880三原図書館2F) ・・・2/18(土)～3/6(火) ④緑公民館(南あわじ市広田広田1057-1)・・・3/10(土)～3/27(火)			全会場無料 【問】南あわじ市 埋蔵文化財調査事務所 TEL 0799-42-3849

退任の御挨拶

編集だより

淡路全域の情報を紹介するポケットあわじを知ったのは2年程前でした。記事は書けないが配るぐらいはできるでしょうと軽い気持ちで始めました。

月一回の編集会議では、応援隊の皆さんから淡路島の文化や歴史などについて色々なことをお聞きし、勉強になって、中国から素晴らしい淡路島に来て正解だと改めて確信しました。そして、知識や経験、たくさん物知りな応援隊の皆さんを尊敬して、羨ましく思いました。いつか私も皆さんのようになれたらいいなあと思いつつながら2年程楽しくお付き合いをさせて頂きました。

ところで、念願の海外生活がついに最近決まったので、暫く日本を離れることにしました。でも、たとえ、遠い海外に居てもネットで応援隊皆さんが書かれた素敵な記事をカラー版で見れるから地球が一つの村になった気がする！楽しみに待ってま～す。

応援隊の皆さん、短い間でしたが大変お世話になりました。

衷心感謝!(心を込めて感謝しております。)

幹田願敏

「ポケットあわじ」は、毎月3,000部発行し、応援隊の手により、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約240カ所に無料配布しています。

淡路文化会館のホームページ【<http://www.eonet.ne.jp/~awaj-i-cc/>】でご覧になると、カラー版でお楽しみいただけます。読者の皆さまからのお便り、まちの情報をお待ちしています。下記までお気軽にどうぞ!

(発行) 淡路生活創造応援隊  
 淡路文化会館  
 〒656-1521 淡路市多賀600  
 TEL 0799-85-1391  
 E-mail a-pocket@yogo-ikigai.jp

